

日本の世界遺産の発信力

～ウェブ・ページからわかること～

「遺産の保護」を目的に始まった世界遺産リスト登録。

日本では観光客誘致の道具となっている感も否めません。

国内の世界遺産のウェブ・ページを覗いてみると、例えば「生活優先か観光優先か」など、地元住民が抱える葛藤が見えてきます。

原爆ドームと厳島神社の二つの世界遺産を有し、国内だけでなく海外からも多くの観光客を迎え入れている広島。そこに住む私たちも、今改めて考えてみませんか。



日 時 ◆9月8日(土)

午前10時～11時30分

会 場 ◆大塚公民館 3階 研修室1

対象・定員 ◆成人 30人

講 師 ◆広島修道大学健康科学部

教授 増田 尚史 さん

申 込 ◆大塚公民館へ電話か来館で

(☎082-849-1841)

日本は1992年、ユネスコの世界遺産条約を締結。翌年、日本から初めて「法隆寺地域の仏教建造物」及び「姫路城」の2件が文化遺産として、「白神山地」及び「屋久島」の2件が自然遺産として、世界遺産一覧表に記載。「原爆ドーム」及び「厳島神社」は1996年に文化遺産として世界遺産一覧表に記載された。

大塚公民館

●住所 〒731-3167 広島市安佐南区大塚西六丁目3番2号

●☎082-849-1841 FAX 082-849-1842

●e-mail ozuka-k@cf.city.hiroshima.jp

●ホームページ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/ozuka-k/>

●交通 バス…「広域公園テニスコート」から徒歩約5分

※アストラムラインの場合は「大塚駅」からバス乗換

